

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月13日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7851 URL http://www.kc-s.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 康平  
 問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者兼 (氏名) 梶山 伸夫 (TEL) 06-6222-7474  
 総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,683	11.5	19	—	45	—	37	—
26年3月期第2四半期	1,509	△10.5	△37	—	△21	—	△42	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第2四半期	7.75		—					
26年3月期第2四半期	△8.79		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,418	3,418	77.4
26年3月期	4,512	3,429	76.0

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,418百万円 26年3月期 3,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	2.2	12	—	32	—	17	—	3.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期2Q	5,160,000株	26年3月期	5,160,000株
27年3月期2Q	428,247株	26年3月期	381,247株
27年3月期2Q	4,775,158株	26年3月期2Q	4,812,628株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動からの持ち直しテンポが鈍く、一部では先行き改善の兆しがあるものの景気の低迷は持続しているものと思われま

す。ビジネスフォーム業界におきましても、企業の経費削減による使用高の減少や競争激化による価格低下、電子化による総需要の減少に加え、原材料の値上がり等の影響を受け、引き続き厳しい状況が続いております。

このような情勢の中で営業部門におきましては、情報処理案件を重点項目として金融、通販業界、中央官庁及び外郭団体を中心に既存案件の死守と新規先、新部署開拓に注力してまいりました。

生産部門におきましては、品質、生産性向上による原価削減をめざし、設備の効率的活用や省力化並びにコスト意識やスキル向上のための教育に努めました。また、原材料の値上がりを踏まえ原材料使用高の低減にも努めました。

その結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高が1,683百万円(前年同期は1,509百万円)、経常利益は45百万円(前年同期は21百万円の経常損失)、四半期純利益は37百万円(前年同期は42百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① ビジネスフォーム事業

企業のコスト抑制による需要の減少、価格競争激化の影響があったものの、既存取引先へより一層の深耕活動や新規取引先の獲得もあり、売上高は前年同期と比べ83百万円増加の1,081百万円(前年同期は998百万円)、セグメント利益は146百万円(前年同期は105百万円)となりました。

#### ② 情報処理事業

金融関連の総需要量の減少並びに電子化の進行の影響は大きいものの、新規案件獲得等に幅広く活動しました結果、売上高は前年同期と比べ90百万円増加の601百万円(前年同期は510百万円)、セグメント利益は42百万円(前年同期は37百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間における流動資産は前事業年度末と比べ95百万円減少し、2,455百万円となりました。これは主に「受取手形及び売掛金」が43百万円、「原材料及び貯蔵品」が13百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が168百万円減少したことによるものです。

固定資産は前事業年度末と比べ2百万円増加し、1,963百万円となりました。これは「有形固定資産」及び「無形固定資産」の取得による増加が8百万円、「投資その他の資産」に含まれる「投資有価証券」が58百万円、「保険積立金」が21百万円それぞれ増加し、減価償却の影響により「有形固定資産」が69百万円、「無形固定資産」が15百万円それぞれ減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ56百万円減少し、809百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる「未払消費税等」が18百万円増加し、「短期借入金」が40百万円と「その他」に含まれる「未払金」が37百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は前事業年度末と比べ25百万円減少し、190百万円となりました。これは主に「退職給付引当金」が5百万円増加し、「その他」に含まれる「リース債務」が25百万円、「役員退職慰労引当金」が7百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ10百万円減少し、3,418百万円となりました。これは「その他有価証券評価差額金」が11百万円増加し、「利益剰余金」の減少10百万円と「自己株式」の取得11百万円によるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により55百万円の収入、投資活動により97百万円、財務活動により126百万円とそれぞれ支出した結果、前事業年度末に比べ168百万円減少し1,661百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、税引前四半期純利益が45百万円、非現金支出費用の減価償却費84百万円、仕入債務の増加額9百万円が主な増加要因となり、売上債権の増加額43百万円、棚卸資産の増加額25百万円、役員退職慰労金の支払額11百万円が減少要因となったことにより、営業活動によるキャッシュ・フローは55百万円の収入(前年同四半期は79百万円の収入)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、主に有形固定資産の取得による支出41百万円、無形固定資産の取得による支出3百万円、投資有価証券の取得による支出43百万円により、投資活動によるキャッシュ・フローは97百万円の支出(前年同四半期は25百万円の支出)となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、短期借入金の返済40百万円、自己株式の取得による支出11百万円、リース債務の返済による支出24百万円、配当金の支払額47百万円などを行ったことにより、財務活動によるキャッシュ・フローは126百万円の支出(前年同四半期は56百万円の支出)となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の見通しにつきましては、現時点における修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,909,483	1,741,263
受取手形及び売掛金	549,030	592,319
商品及び製品	32,230	38,864
仕掛品	8,358	14,039
原材料及び貯蔵品	22,493	35,635
その他	29,587	33,154
貸倒引当金	△145	△155
流動資産合計	2,551,038	2,455,122
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	379,199	363,921
土地	523,057	523,057
その他(純額)	413,412	362,107
有形固定資産合計	1,315,670	1,249,086
無形固定資産	64,299	53,288
投資その他の資産	581,421	661,269
固定資産合計	1,961,391	1,963,644
資産合計	4,512,429	4,418,766
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	181,666	191,308
短期借入金	436,640	396,640
未払法人税等	6,393	12,848
賞与引当金	44,690	45,535
その他	196,574	162,711
流動負債合計	865,965	809,043
固定負債		
長期借入金	13,360	10,040
退職給付引当金	44,242	49,929
役員退職慰労引当金	33,979	26,747
その他	124,963	104,057
固定負債合計	216,546	190,774
負債合計	1,082,511	999,818
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,104,593	1,093,810
自己株式	△93,824	△105,104
株主資本合計	3,410,074	3,388,011
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,844	30,936
評価・換算差額等合計	19,844	30,936
純資産合計	3,429,918	3,418,948
負債純資産合計	4,512,429	4,418,766

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,509,331	1,683,467
売上原価	1,089,759	1,223,644
売上総利益	419,572	459,823
販売費及び一般管理費	456,663	440,097
営業利益又は営業損失(△)	△37,091	19,725
営業外収益		
受取利息	128	221
受取配当金	1,318	1,580
助成金収入	12,432	12,128
保険差益	-	11,967
為替差益	1,540	181
その他	6,309	5,318
営業外収益合計	21,729	31,397
営業外費用		
支払利息	5,893	4,707
その他	294	677
営業外費用合計	6,188	5,385
経常利益又は経常損失(△)	△21,550	45,738
特別利益		
固定資産売却益	-	61
特別利益合計	-	61
特別損失		
投資有価証券評価損	3,680	-
社葬費用	11,277	-
その他	1,277	-
特別損失合計	16,235	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△37,786	45,799
法人税、住民税及び事業税	4,492	8,794
法人税等合計	4,492	8,794
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△42,279	37,005



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△37,786	45,799
減価償却費	84,990	84,626
貸倒引当金の増減額(△は減少)	191	△149
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,318	844
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△703	5,686
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,994	4,325
受取利息及び受取配当金	△1,446	△1,802
支払利息	5,893	4,707
保険差益	-	△11,967
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△61
投資有価証券評価損益(△は益)	3,680	-
売上債権の増減額(△は増加)	68,785	△43,289
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,252	△25,456
仕入債務の増減額(△は減少)	△23,363	9,641
その他	△1,072	199
小計	95,229	73,104
利息及び配当金の受取額	1,448	1,685
利息の支払額	△5,863	△4,808
法人税等の支払額	△11,659	△2,902
役員退職慰労金の支払額	-	△11,557
営業活動によるキャッシュ・フロー	79,155	55,520
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,500	△41,281
有形固定資産の売却による収入	-	151
無形固定資産の取得による支出	△8,468	△3,845
投資有価証券の取得による支出	△586	△43,069
保険積立金の積立による支出	△16,370	△16,830
その他	4,975	7,411
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,949	△97,465
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	△40,000
長期借入金の返済による支出	△3,320	△3,320
自己株式の取得による支出	△199	△11,280
セールアンド割賦バック取引による支出	△11,441	-
リース債務の返済による支出	△23,649	△24,088
配当金の支払額	△47,565	△47,767
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,177	△126,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,540	181
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,430	△168,219
現金及び現金同等物の期首残高	1,871,690	1,829,483
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,870,260	1,661,263

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	998,505	510,826	1,509,331	—	1,509,331
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	998,505	510,826	1,509,331	—	1,509,331
セグメント利益又は損失(△)	105,038	37,964	143,003	△180,095	△37,091

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業損失と調整を行っています。

II 当第2四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,081,853	601,614	1,683,467	—	1,683,467
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,081,853	601,614	1,683,467	—	1,683,467
セグメント利益又は損失(△)	146,987	42,660	189,648	△169,922	19,725

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。